

2016年6月版



SEIKEI Vision 150

グローバル・パースペクティブをもつリーダー養成

共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の追究の中から、在野の精神に立ってグローバル社会の未来を切り開く自律的な次世代を創出する。

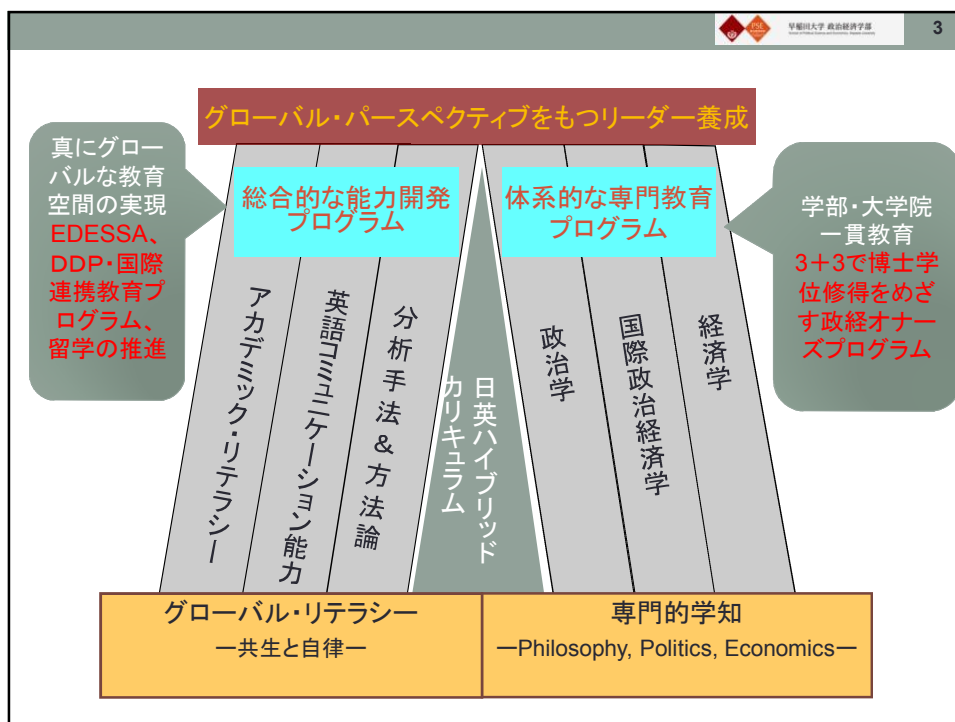
早稲田大学 政治経済学術院



2

グローバル・パースペクティブをもつ リーダー養成

- ・ “Philosophy, Politics and Economics”(PPE)を理念とした学部・大学院における一貫した教育・研究
- ・ グローバル・リテラシーと政治学および経済学を核とする体系的な専門的知識の修得
- ・ グローバル・パースペクティブをもつ職業人ならびに研究者として、地域社会から国際社会まで、様々な分野の多様な組織において活躍するグローバル・リーダーの養成



早稲田大学 政治経済学部 4

日英両言語による ハイブリッド型教育体系

SEIKEI Vision 150, part I


早稲田大学 政治経済学術院
Seikei University School of Political and Economic Studies

5

- ・ 学術院におけるすべての学位プログラムが日英両言語によるハイブリッド型となる。
- ・ 学生は、国籍や初中等教育歴に関係なく、言語能力等に基づき最も適切な入試を経て入学し、日本語および英語を駆使して学修に取り組む。
- ・ 主たる教育言語を日本語とする学生と英語とする学生の比率は2:1となる。
- ・ 多くの学生が在学中に海外留学を経験する。
- ・ グローバル・パースペクティブをもつリーダーを養成し、共生の次世代を創出する。

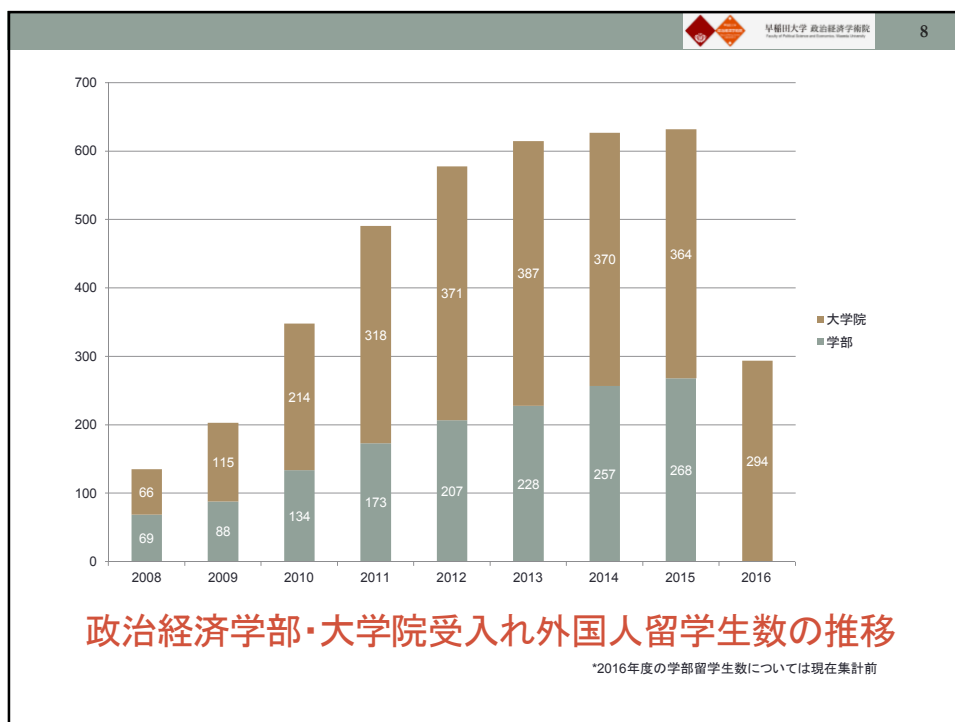
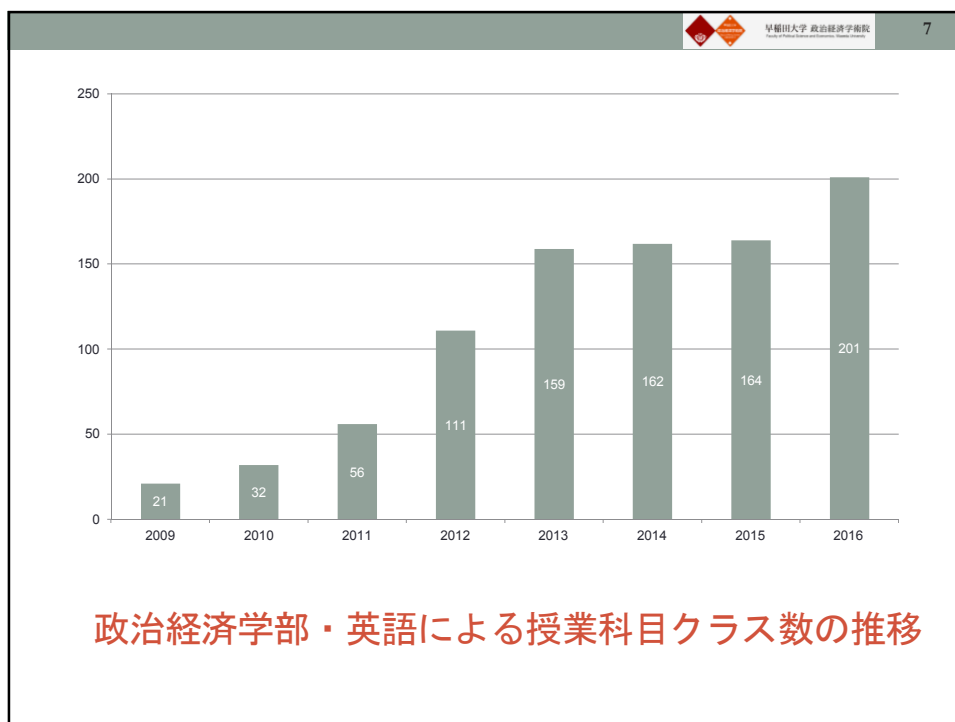
SEIKI Vision 150, Part I
日英両言語によるハイブリッド型教育体系《Vision》

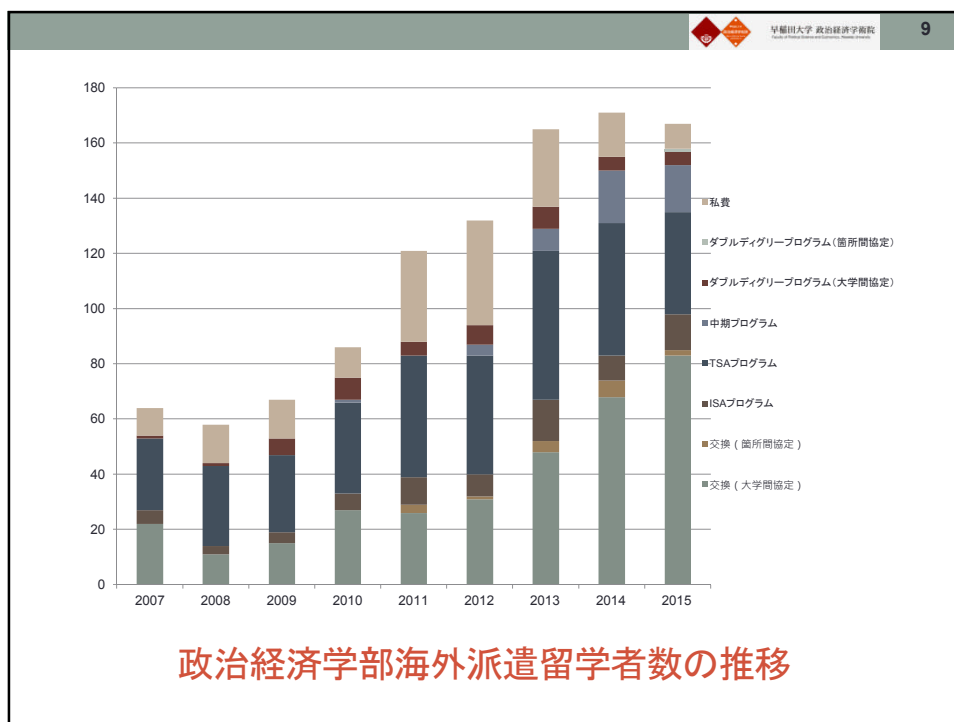

早稲田大学 政治経済学術院
Seikei University School of Political and Economic Studies

6

SEIKI Vision 150, Part I 日英両言語によるハイブリッド型教育体系
《重点的取り組み》

- EDESSA(English-based Degree Studies September Admission) の拡大
 - 入学定員: 50名(2013年度)、75名(2014年度)、85名(2015年度)、100名(2016年度)
- Vision150実現に向けた教員増/国際公募を原則とする競争力ある採用活動
 - EDESSAプログラム専任教員の採用: 6名(2014年度)→10名(2016年度)
 - Vision150 学術院支援策による9名増員、テニュアトラック制度の導入、Web公募の導入
- 国籍を問わず、気概と知的能力においてグローバル・リーダーを目指すにふさわしい優秀な学生を確保することを目指す入試改革
 - グローバル入試実施(TOEFL、国際バカロレア利用、AO型総合選抜を改革)
- 附属・系属校との連携による学部進学者の英語力等の向上
 - 高大連携プログラム実施、TOEFL目標スコア設定
- 教育におけるグローバル・コラボレーションの積極的展開
 - DDP拡大、サマースクール実施、日本-アジアの政治経済学教育プログラムによる連携
- 英語授業科目の履修によるグローバルな教育の体験、留学準備
 - 留学準備のためのEDESSA科目の履修
- 日本人学生に対する英語集中学習
 - TOEFL、能力別クラス、チュートリアル、独自の統一教科書の採用、EDESSA科目での補完





早稲田大学 政治経済学術院
Ritsumeikan University Faculty of Political Science and Economics

10

自学自修を促す教育の展開

SEIKEI Vision 150, part II



- ・「ゼミ」という政経に伝統の教育方法を最大限活かし、入学時の必修の基礎演習から専門の演習を通じた卒業論文まで、少人数教育を徹底し、参加しながら共に学び合うことを通じて、人間形成と知的能力の自己開発を促す。
- ・あらゆる授業において、学生のアクティブな参加と活動の機会を開き、そうした多様な学修活動を学生自身がポートフォリオに記録し、自ら課題を見出し解決することにより、社会的貢献を目指す自律的で能動的な主体を育てる。

SEIKI Vision 150, Part II

自学自修を促す教育の展開《Vision》



SEIKI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(1)》

- 人間形成と知的能力の自己開発を促す少人数でアクティブな教育
 - 新3号館モデル教室とアクティブな教育授業プラン
- 入学から卒業まで、1クラス15人以下の「ゼミ」の全員履修
 - 基礎演習(必修、GEC「学術的文章の作成」とセット)、アカデミック・リテラシー演習、専門演習(政治学/経済学/国際政治経済学)・学際領域・ジャーナリズムメディア演習(+プレ演習および卒業論文)
- 教室講義と少人数制TAセッションを組み合わせた授業運営、授業時間外のTAによる補習等、徹底した学修支援体制を構築
 - 3学科共通専門入門科目「政治分析入門」「ミクロ/マクロ経済学入門」:講義+少人数制のTAセッション(ディスカッション、演習等)、数学支援室をはじめとするTAオフィスアワー
- 学生の集中的な授業履修
 - セメスター制の完全実施、クォーター制の導入によるグローバル化対応


早稲田大学 政治経済学術院
Seikei University School of Political and Economic Studies

13

SEIKI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(2)》

- あらゆる学問とキャリアの基礎となる方法論教育の重視
 - 3学科共通の分析手法・数学カリキュラム構築
- インターンシップや寄附講座など、キャリアデザイン力を身に付けることのできる実践的な教育の充実
 - キャリアデザイン・ワークショップ、寄附・提携・協力講座、総合講座（稲門政経会協力）、学外連携講演会シリーズ、卒業生との連携を強化
- 学生自身の多様な努力と成長の過程の自己確認と自己アピールのためのポートフォリオシステムの構築
- 教育内容、評価基準、科目別成績評価割合等の公開


早稲田大学 政治経済学術院
Seikei University School of Political and Economic Studies

14

SEIKI Vision 150, Part II 自学自修を促す教育の展開 《重点的取り組み(3)》

- 2014年度学部カリキュラム改革(基本方針)
 - ①セメスター化の徹底
 - ②1学期の履修単位数の削減による予習・復習時間の拡大
 - ③基礎教育の学部一体的運営、コースナンバー化による大学院との一体的運営
 - ④外国語教育のさらなる充実(GECとの連携)
 - ⑤基礎的科目中心に提供。英語授業科目はさらなる多様化。全体としての設置科目数の減少
 - ⑥全教員の全学生に対する教育を可能とする科目配置の適切設定
 - ⑦政治学・経済学必修科目は、講義科目に加えてTAセッションを開講
 - ⑧キャリア教育の一層の充実
 - ⑨副専攻の再編等による法学部・商学部との連携強化
- ゼミという日本・早稲田・政経に特有の教育方法を最大限活かし、1年次から4年次まで、少人数による指導を徹底することで、知的能力の最大限の向上を図る。
 - ①基礎演習の必修化(1年次春学期) → 「学術的文章の作成」+「基礎演習(論文作成あり)」で4単位付与。18名定員。
 - ②アカデミックリテラシー演習(1年次秋学期～2年次秋学期) → 涵養されるべき能力にフォーカスした6つのカテゴリー。半期2単位。15名定員。
 - ③専門演習(3年次春学期～4年次秋学期) → 政治学、経済学、国際政治経済学の専門的学知の獲得と活用。15名定員。
 - ④学際領域演習(3年次春学期～4年次秋学期) → 共生と自律のためのグローバルリテラシーの獲得と活用。15名定員。
 - ⑤ジャーナリズム・メディア演習 → プロフェッショナル・スタディーズに基づく実践知の獲得と活用。15名定員。

* ③～⑤のブレ演習を2年次秋学期に設定可。演習論文(3単位)を別途付与。

* ②～⑤で演習科目群を設定し、4単位を義務付ける。

グローバル科目—共生と自律のために	
導入科目	基礎演習(必修)、学術的文章の作成(必修)
分析手法・数学科目	統計、ゲーム理論、調査研究デザイン、数学
外国語科目	英語、その他外国語
グローバルリテラシー	自然と生命(科学技術論、自然誌・生命科学、宇宙・地球科学 etc.) 人間と社会(ジェンダー論、多文化共生論 etc.) 歴史と文化(グローバル史、東洋思想、芸術論 etc.)
キャリアデザイン	寄附・提携講座、キャリアデザインワークショップ、インターンシップ
演習	アカデミックリテラシー演習 -コミュニケーション能力を磨く -ライティングとプレゼンテーションの能力を磨く -分析と批判的思考の能力を磨く -グローバル・パースペクティブを養う -古典を読む -プロジェクトを企画する 学際領域演習 ジャーナリズム・メディア演習


早稲田大学 政治経済学術院
Keio University School of Political Science and Economics

15

大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム

SEIKEI Vision 150, part III

16

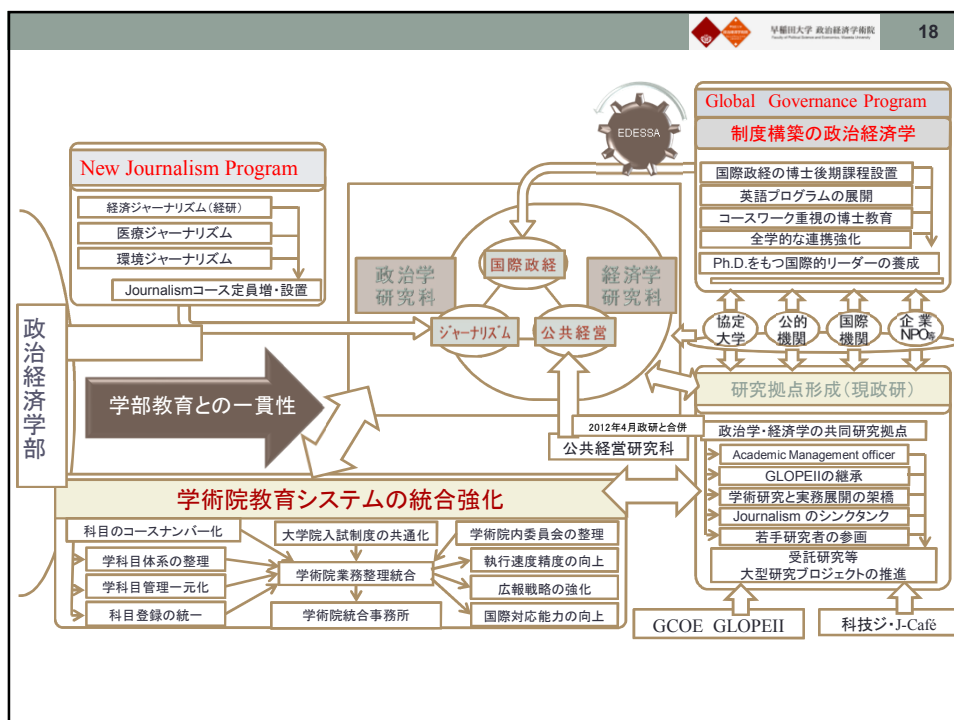

 早稲田大学 政治経済学術院
 Waseda University Graduate School of Political Science and Economics

- 政治経済学部と大学院の一体的教育体系を整備し、学部卒業生の20%以上が、より付加価値の高い専門教育を求めて大学院に進学。
- 政治学研究科と経済学研究科の一体的組織運営のもと、体系的な研究者養成および高度専門職業人育成。
- コースワークを主とする博士5年一貫プログラムへの進学者、学部入学から6年間で博士号を取得する学生を多数養成。

SEIKI Vision 150, Part III

大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム《Vision》

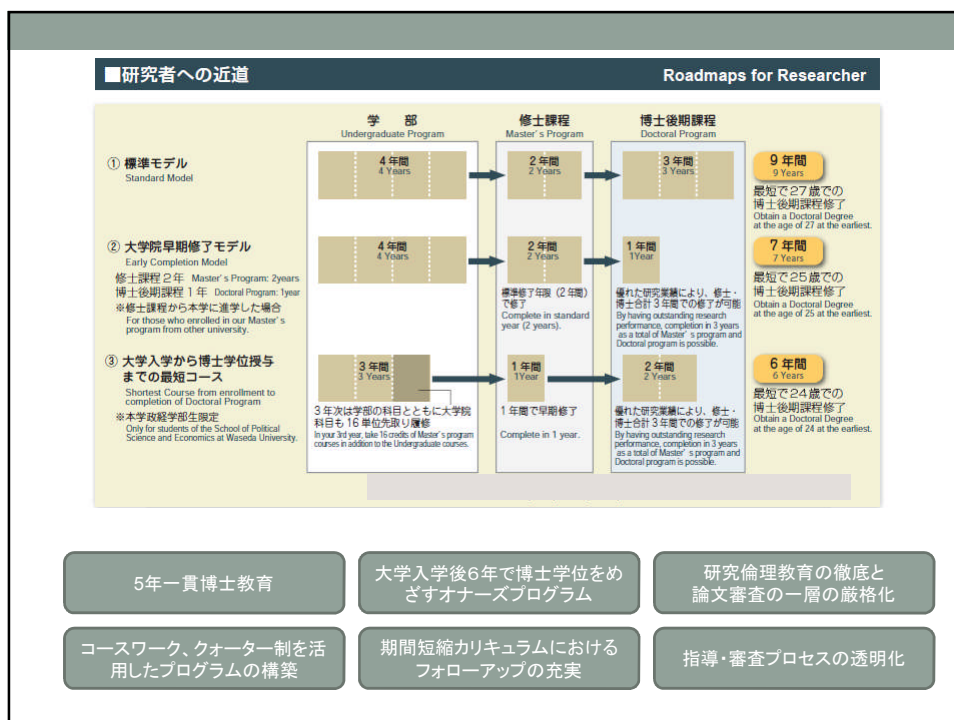
17




早稲田大学 政治経済学術院
Waseda University Graduate School of Political Science and Economics
19

SEIKI Vision 150, Part III 大学院における複線的で体系的な高度人材養成システム《重点的取り組み》

- 博士5年一貫プログラムの両研究科での実施
- **3+3で博士学位修得を目指す！ 政経オナーズプログラムの導入**
→ 学部1年終了時点での申請者：2015年度6名、2016年度2名
- 学部国際政治経済学科・大学院国際政治経済学コース連動カリキュラム改革
 - グローバル・ガバナンス・プログラム（GGP）の強化
 - GLOPEIIの成果の教育定着
- 早稲田ジャーナリズム大学院新展開 → **学費改定とカリキュラム全面改定**
 - グローバル化に対応したジャーナリスト養成；J-Schoolのグローバルネットワーク
 - 社会人対応プログラム；現役ジャーナリストのための短期リカレントプログラム
- 早稲田公共経営大学院 → **専門職課程に適切な研究指導体制**
 - 理論的な教育と実践的な教育の理想的な結合を目指す、新しい高度専門職業人養成

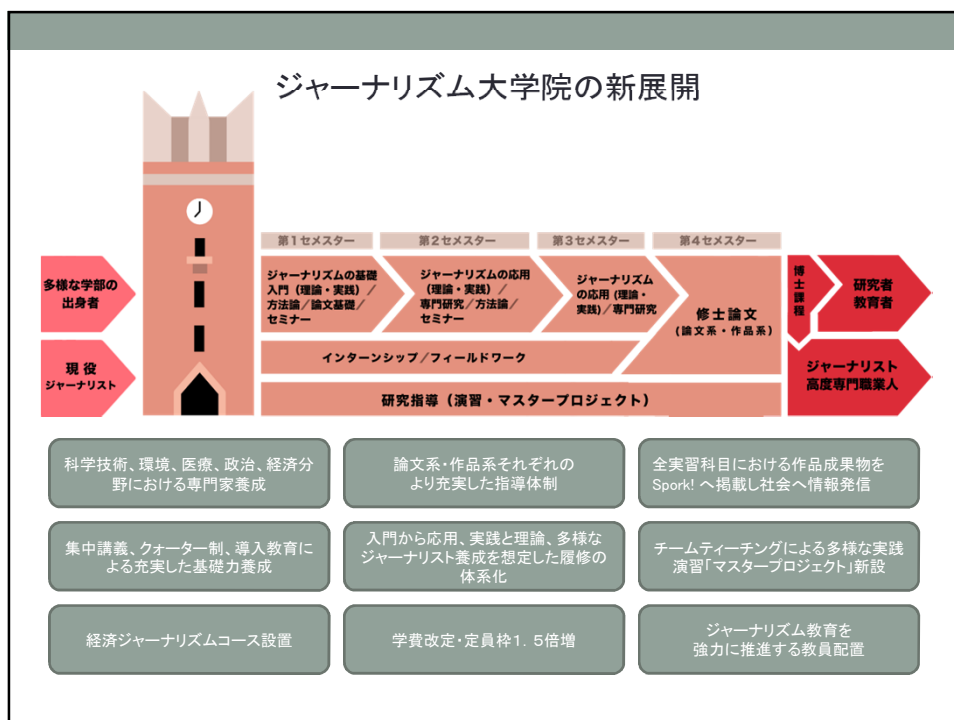
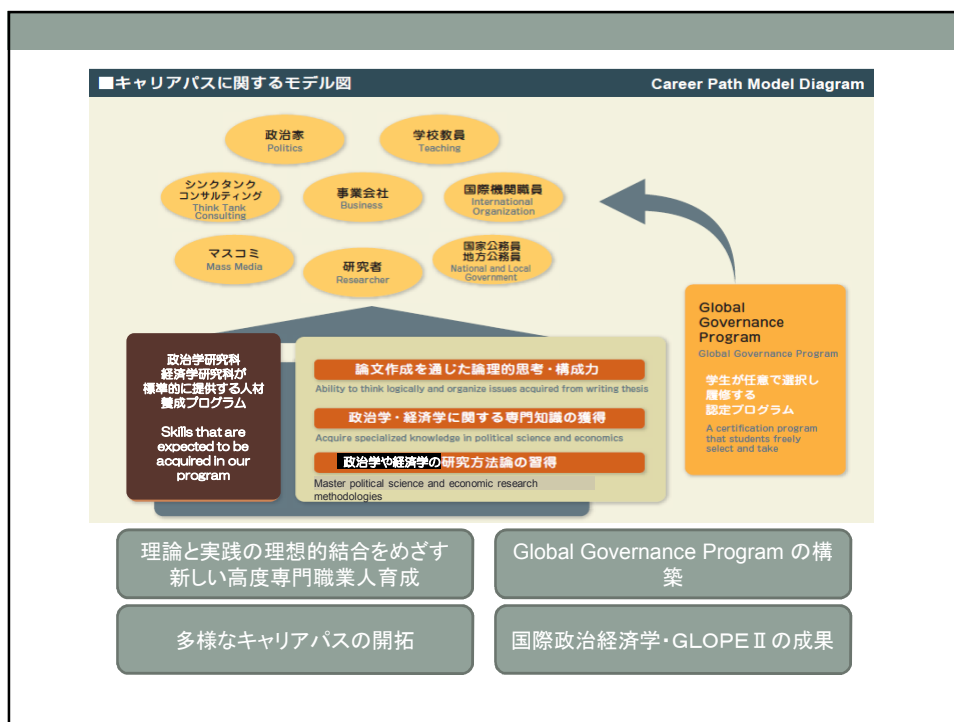


政治学研究科 オナーズプログラム

U1	U2	U3	M1	D1	D2
卒業要件124単位 年度最大40単位(U1、U2)、年度最大44単位(U3)			修了要件 政治学:32単位 ジャーナリズム:36単位		
方法論教育 ・規範、経験、数理分析の方法論教育 ・学部にて大学院科目を履修 ・分析手法認定試験による習熟度チェック		分析手法 認定試験	修論提 出・審査	論文指 導委員 会発足	論文構想試験 博論 提出前 発表会 博論 提出・審査
Global Literacy ・英語の実践力強化 ・多言語教育 ・Liberal Arts科目			・各領域の文献リストに基 づく習熟度判定試験 ・主領域、副領域、複数分 野の習熟 以下の書類により、論文構 想について面接試験 ・研究計画書 ・Bibliographical Essay ・Synopsis ・Draft Chapter		
学部講義科目 ・学術文献リストの作成により学部と大学院をシームレスに繋ぐ ・文献リストと科目参考文献との有機的連動			領域修了試験／ 基礎習得認定 試験		
			大学院講義科目 ・先取り履修	大学院講義科目 ・専門研究科目、理論科目等	
基礎演習	演習科目 ・アカデミックリテラ シー演習等を毎学 期履修	プレゼミ ・領域決定	政治学演習 大学院専門研究セミナー ・大学院とのシームレスな指導 体制	大学院専門研究セミナー ・博士論文の構想をM1から 指導	研究指導

経済学研究科 オナーズプログラム

U1		U2		U3		M1		D1		D2			
毎年度40単位(最終年度44単位) 卒業要件124単位						修了要件32単位							
学部基礎科目 ミクロ経済学・マクロ経済学・統計学・数学など 経済学のリテラシーを広範囲に身に付ける				学部専門科目 各自の専門分野を確定 する		修士論文 (サーヴェイ型)審査							
総合基礎 演習		総合演習		経済学総合演習(＋ブレ演習) 修士課程とのシームレスな指導体制に より、学位論文の早期完成をアシスト								大学院演習 学位論文執筆のた めの文献渉猟	
(5年一貫博士プログラム)													
修士基礎科目(先取り) 修士レベルの基礎科目 を先取り学習する				修士専門科目 各自の専門分野 の知識を深化させ									
Workshop for Ph.D. Students 学部学生・院生間の研究交流を促進 学問的フロンティアへの到達を加速													
研究指導						Workshop for Ph.D. Students							
研究指導						研究指導							



 早稲田大学 政治経済学術院
Seikei University School of Political Science and Economics

25

卓越した知の共同体の構築

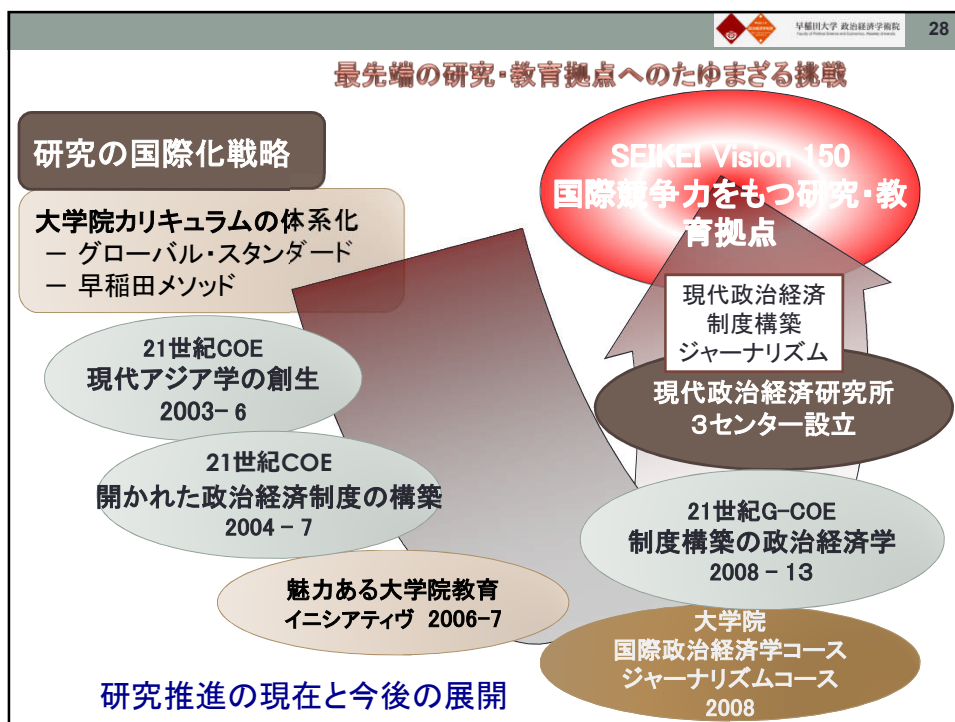
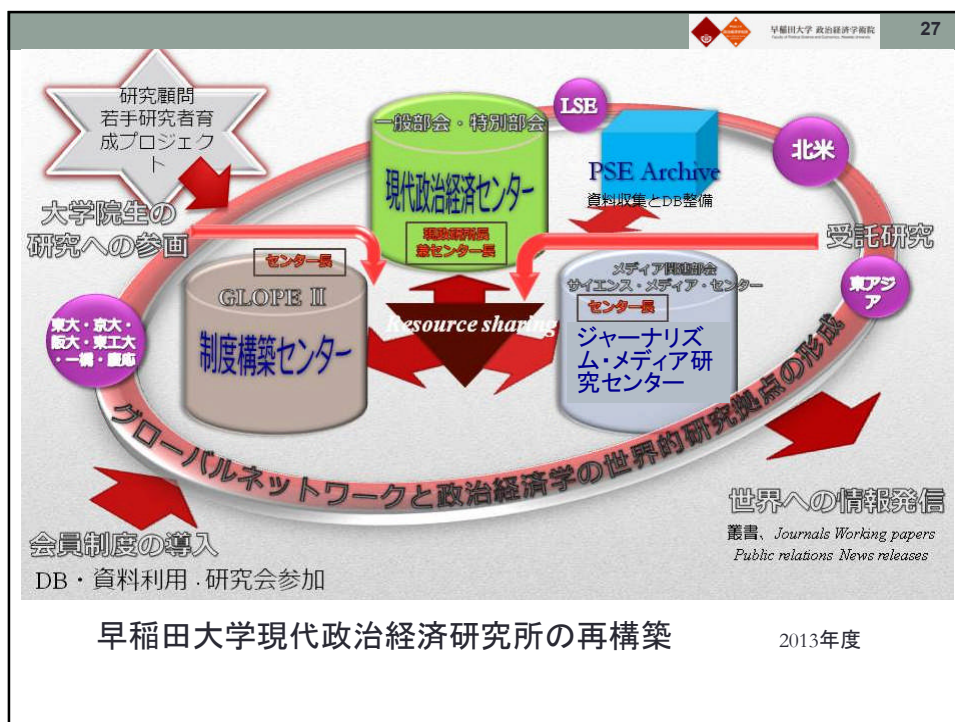
SEIKEI Vision 150, part IV

 早稲田大学 政治経済学術院
Seikei University School of Political Science and Economics

26

- ・ 現代アジア学を提唱する一方で、新たな政治経済学を構築し、21世紀に期待される地球社会の構想に貢献しようとしてきたCOE、G-COEの成果を定着させ、発展させる。
- ・ 期待されるグローバルな共生社会の善き生と正義の実現に寄与する学問研究の不断の探求を、学術院総合力で推進し、学部・大学院におけるグローバル・リーダー育成のための国際的競争力を有する質の高い教育を展開する。
- ・ 現代政治経済研究所を中核として、アジアから世界へ発信する研究拠点を構築する。

SEIKEI Vision 150, Part IV
卓越した知の共同体の構築<<Vision>>




29

SEIKEI Vision 150, Part IV 卓越した知の共同体の構築 《重点的取り組み》

- Waseda Institute of Political Economy (WINPEC)再編
 - 現代政治経済研究センター、制度構築センター、ジャーナリズム・メディア研究センター
- 研究部会の活性化
 - 外部研究資金申請を義務化、科研費実績の向上; WINPECセミナー、院生ランチタイム・セミナー、特別部会、問題解決型プロジェクト、国際的若手研究者育成プログラム
- 政治学経済学を中心とする研究者の全学的連携の実現
- 世界的研究拠点形成のために、研究に関するグローバル・ネットワークを構築
- 高い国際的評価獲得のため、研究成果の国際的発信力強化
- 会員制による定期的な公開講座など、研究成果の恒常的社会還元

